

# このほんしってる？

3・4年生

ここに紹介した本は、図書館にあります。

読みたい本がみつかったら、厚木シティプラザ3階

こどもの本のフロア、依知北・睦合北・小鮎・荻野・  
もりさと たまがわ あいかわ むつあいにし なんもうり こうみんかん  
森の里・玉川・相川・睦合西・南毛利の公民館に来て

ください。移動図書館「わかあゆ号」でも借りられます。

本は、ひとり10冊、2週間まで借りられます。

読みたい本が貸出中のときは、予約をしてください。

2021年

厚木市マスコットキャラクター  
あゆま回



## 3・4年生 よみもの

### 『ごきげんな毎日』

いとう みく/作 佐藤 真紀子/絵 文研出版

ぼくんちは、2LDKのアパートから、庭付き一戸建ての新しい  
家に引っ越しました。ぼくと姉ちゃん、あこがれのひとり部屋。  
ところが、とつぜん長野のおばあちゃんが引っ越してきたのです。  
おばあちゃんには、何かひみつがありそう。  
そのひみつって、いったい何なのでしょう？



### 『ブランの茶色い耳』

八東 澄子/作 小泉 るみ子/絵 新日本出版社

みほの家では半年前、かっていた犬がしんでしまいましたが、  
そろそろ新しい犬をかうことに。お母さんが「保健所で保護されて  
いる犬の里親になりたいわ」といい、さっそく保健所に行ってみました。  
そこでみほは、1匹きの犬と目があいましたが、犬はひどくお  
びえてちかづけません。これがブランとの出会いでした。

## 『しゅくだいかけっこ』

福田 岩緒/作・絵 PHP研究所

ゆうまは、走るのが苦手。はずかしいおもいをしたくないから、  
運動会も出たくない。そんなとき、てんぐじいさんが、ゆうまに  
いった。「練習すれば、だれだって速く走れるようになる。」  
え？ 足がおそいのは、うまれつきじゃないの？  
てんぐじいさんとゆうまの、かけっこ特訓がはじまった。



## 『あららのはたけ』

村中 李衣/作 石川 えりこ/絵 偕成社

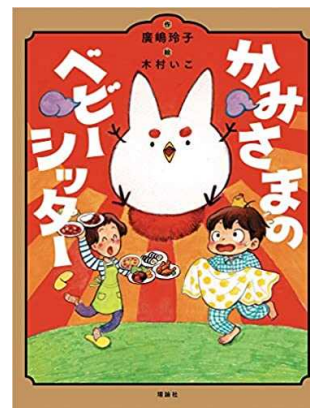
じいちゃんが倒れ、家族で横浜から山口へ引っ越した。そこで  
二十五メートルプールぐらいの広さの、自分の畑をもらうこと  
になり、えりの畑のおせわがはじまった。えりは元クラスメイトの  
エミへ、畑で発見した台風前のくものテキトーな巣作りや、イノ  
シシが食べたあとのクリのようすを書いた手紙を送った。



## 『かみさまのベビーシッター』

廣嶋 玲子/作 木村 いこ/絵 理論社

商店街の福引きで、幸介は、特賞の「かみさまのたまご」が  
当たった。にわたりのたまごの四倍ぐらいの大きさだ。たまごから  
生まれてきたのは、ぬいぐるみのようなかみさまだった。幸介  
は、わがままなかみさまのお世話係になり、幸介家族とかみさ  
まとの生活がはじまった。



## 『いえでででんしゃ、しゅっぱつしんこう!』

あさの あつこ/作 佐藤 真紀子/絵 新日本出版社

図画のじゅぎょうで『わたしの町』をテーマに絵をかくことに。  
さくら子が「みんなが笑っている町がいいな。」と思ったらなぜか  
うかんだのが『空とぶ電車』でした。そのとき、けいすけくんの  
絵をのぞいていた高木くんが「いいじゃん『空とぶ電車』」と言  
たのです。さくら子はやはりと思いました。何かありそうです。



## 3・4年生 しらべる・あそび

### 『わたしたちのカメムシずかん やっかいものが宝ものになった話』

鈴木 海花／文 はた こうしろう／絵 福音館書店

カメムシいと言うと、とてもいやなおいむしのするくさい虫ですが、そのカメムシがたまくさんいまちる町が岩手県・葛巻町くすまきまちです。朝礼ちょうれいで校長先生こうちょうせんせいが、「いっしょにしらべてみませんか？みんなでくカメムシはかせ>になりましょう！」と、ていあんがっこうしました。学校をあげて調査ちょうさをはじめると、思おもわぬ出で会あいはっけんいや発見はっけんがありました。



### 『だれの手がた・足がた？ 手足でわかる動物のひみつ』

小宮 輝之／監修 有沢 重雄／構成・文 偕成社

手がた・足がたから、何どうぶつの動物か当ててみましょう。その動物どうぶつは、どんなふうかに生活しているのか、どんなふうかに狩りをするのか、探偵たんていになった気分そうそうで想像しながら考えてみると答えにたどり着つけるかも。クイズに答えていくうちに、動物どうぶつの特とくちょう徴とくちょうとくらしかんけいの関かんけい係かんけいがわかるようになっていきます。



### 『おもしろ“紙学” 紙みらいの未来とわたしたちの生活』

防災ぼうさい 紙は強いんだ！ わたしたちを守ってくれる』

小六 信和・中村 文人／著 くもん出版

生活にかかせない紙は、ふだんだけではなく、災さいがいじ害時にも役立ちまひさいちす。被災地では、ベッドやたんか、ヘルメット等とうに変わかり、人の命いのちを助たすけています。自分で作れるマスクやスリッパもしょうかいされているので、いざというときに役立てましょう。



### 『かいくんとセラピー犬バディ』

井上 こみち／文 国土社

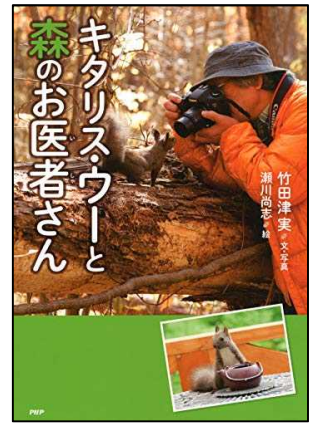
かいくんほいくえんは保育園ほの時から、保護犬ほのバディといっしょにセラピー活動かつどうを続けている。大人の中で、たったひとりの小学生だ。そして、セラピー活動かつどうがとても楽しいボランティアであることを知ってほしいと思っている。かいくんとバディの、施設しせつや病院びょういんでの活躍かつやくの様子を、のぞいてみませんか。



# 『キタリス・ウーと森のお医者さん』

竹田津 実/文・写真 瀬川 尚志/絵 PHP研究所

わたしは、獣医師です。北海道の山の中の小屋に住んでいます。  
ある日、友人が、「助けてやってくれ」と、キタリスの子をつれて  
きました。野生の動物は、法律で、勝手に助けてはいけないこと  
になっています。それでも、見て見ぬふりができない人もいます。  
こうして、キタリスの子「ウー」の入院が決まりました。



# 『だんだんできてくる② マンション』

鹿島建設株式会社/監修 たじま なおと/絵 フレーベル館

かべでかこまれた中で工事がはじまった。どんどん高くなる建  
てものはマンションだ。どうやって作っているのだろう？げんば  
かんとくや、とびなど、せんもんの人たちが集まって、重機も動  
きだした。1かいずつ、順番に、外がわと内がわで工事がすすん  
でいく。完成したら、まちがにぎやかになるよ。



## \*中央図書館 3階 こどもの本のフロアのご案内

### 3階の閉まっている時間

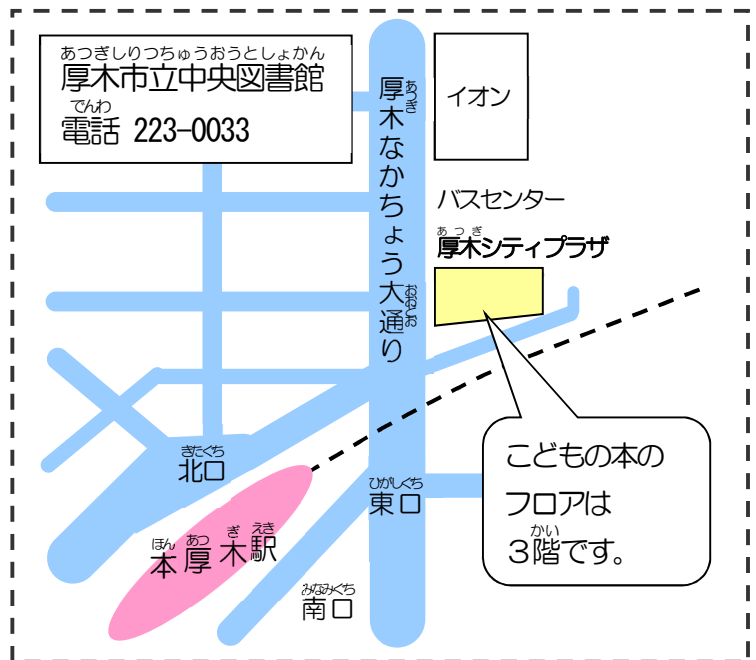
午前9時から午後5時まで

### お休みの日

施設保守日

年末年始

本の整理のとき ほか



図書館は、バスセンター南側の厚木シティプラザの中にあります。